

# 放射線室の紹介 知っていますか? ~ラジエーションハウス~

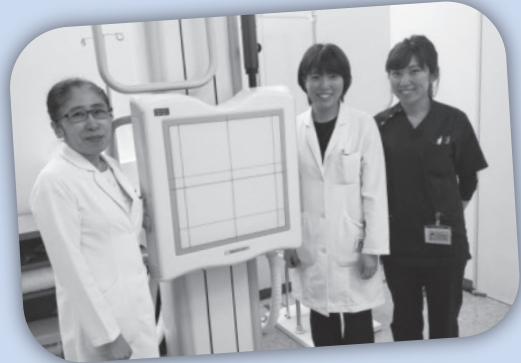
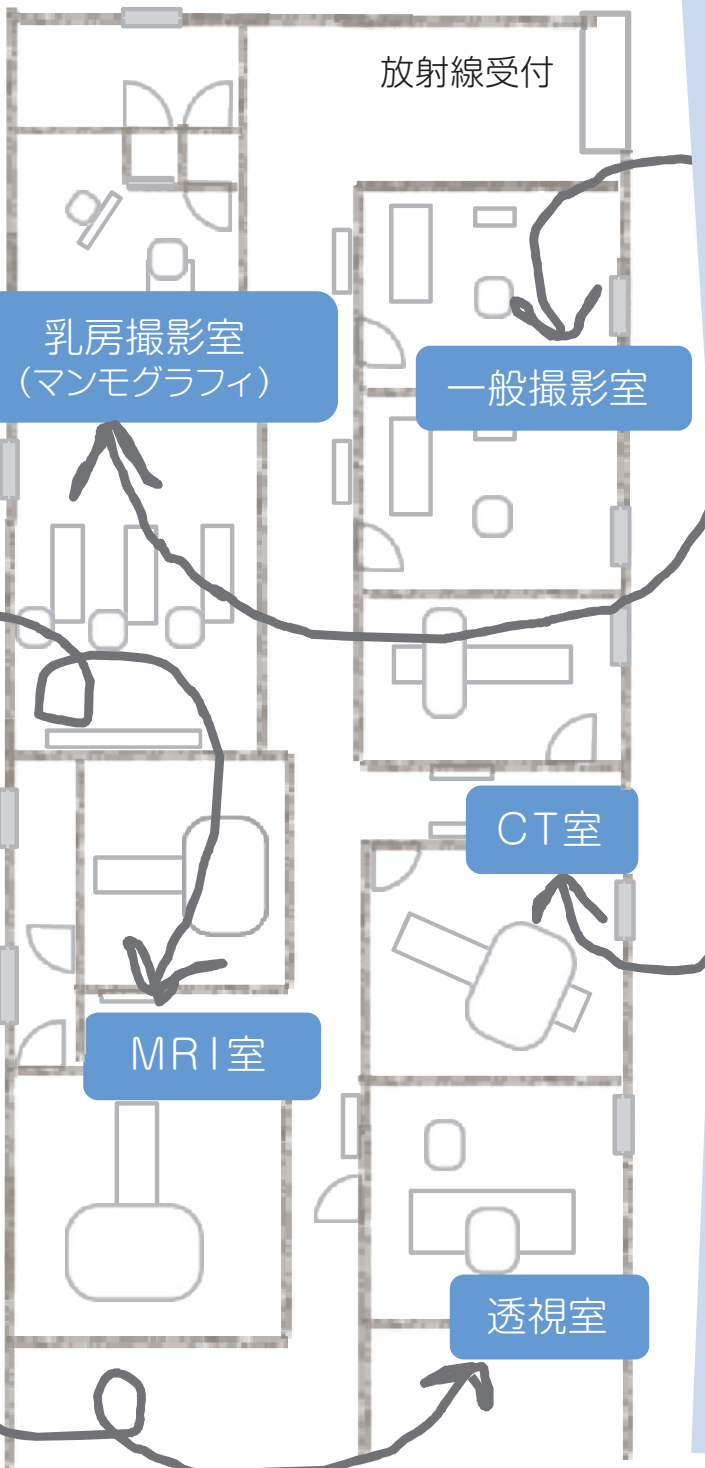
こんにちは!私たちは市民病院の放射線室(最近“ラジエーションハウス”という呼び方で話題になりました)に所属する17名の診療放射線技師です。

皆さんも一度は胸部や骨のX線写真を撮ったことがあると思います。私たちは、X線装置やCT・MRIなどの画像診断機器を用いた検査を医師や看護師・他部署のスタッフと連携しながら行っています。もっとも大切にしていることは、放射線科医師が正確な読影・診断を行うために診断価値の高い画像(より良い画像)を提供することです。

今回は、放射線室の様子をごく簡単ではありますがご紹介します。

放射線室での検査について何か不安なことやご質問があれば、スタッフに遠慮なくお尋ねください。

問合 市民病院管理課管理G ☎28-5151(内線2201)



“はい!大きく息を吸って!”  
胸部のX線撮影が一番皆さんにはなじみがあると思います。胸部以外にも腹部や、骨、歯の撮影など、これらのX線撮影を総称して一般撮影といいます。

マンモグラフィ(乳房撮影)は必ず女性技師が撮影を担当しますので、安心して受診してください。



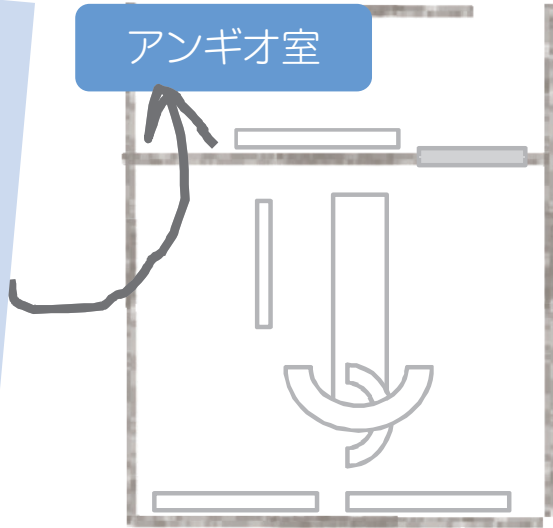
CTは、体の周囲からX線を当ててデータを集めコンピュータによって体の輪切り画像を再構成する装置です。画像をワークステーションで編集し3次元画像を作ります。放射線技師の腕の見せ所です。

※配置図はイメージです。実際の配置や縮尺とは異なります。



アンギオ室では、心臓や脳、肝臓などのカテーテル検査を行っています。血管内にカテーテルという細い管を入れ、造影剤を使って血管の状態を検査したり、腫瘍を治療したりします。放射線技師は医師が円滑に手技を行えるようサポートしています。血管撮影室ともいいます。

### アンギオ室

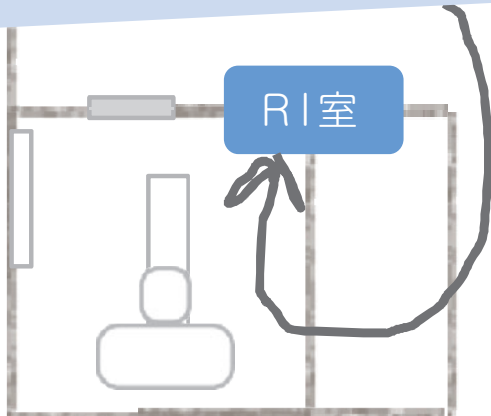


MRIは、磁場と電波を使って体内から微弱な信号を取り出し、色々な向きの体の断面画像を作る装置です。磁場と電波のタイミングを工夫することで様々な画像を得られます。放射線技師の専門的な知識が欠かせません。放射線被ばくはありません。



RIとは、微量の放射線を放出する薬品のことです。体内に投与し、目的とする臓器や組織に集まったところをガンマカメラという装置で撮影します。投与して数日後に撮影する検査もあります。

### RI室



透視室は、X線で体内を透視して見ながら検査したり医師が処置をする部屋です。放射線技師は、胃のX線検査(バリウム検査)や骨密度測定などを行っています。